

「住用中学校の住用探検の取組」

1 学校名

奄美市立住用中学校

2 学年・人数

1年 5人

3 日時・場所

(1) 日時・場所

- ・ 12月16日（水）、17日（木） 総合的な学習の時間に住用町の市集落や東城小中学校、住用中校区の史跡や自然を見学した。
- ・ 12月18日（金）1～3校時に各自学習をした内容のまとめを行った。

(2) 発表の日時・場所

- ・ 12月21日の5・6校時に、住用中学校2階ホールでそれぞれ学習したことを発表した。

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称

青久集落（あおくしゅうらく）、住家墓地、むちゃかなの碑
モダマ自生地、フナンギョの滝

(2) 特徴

- ・ むちゃかなの碑は江戸時代末期、喜界島出身の女性が、島の女性に美しい容姿を妬まれ海に突き落とされ、その亡骸が青久に流れ着き住民が手厚くほうむったという言い伝えがある碑
- ・ 住家墓地は17世紀から19世紀の初めまでこの地方で栄えた郷土格の一族の墓地
- ・ モダマ自生地は、奄美大島で唯一東仲間集落に自生が認められ、希少から住用村指定文化財に指定され現在に至る。
- ・ フナンギョの滝は川内集落の奥にある落差のある滝

5 地域との連携

1日目は、西仲間集落の茂木さんの案内で市集落や青久集落、東城小中校区の史跡や自然を見学した。2日目は、自然写真家の常田さんから住用の自然について講話をいただき、その後、マングローブの森を探索した。

6 活用の取組の工夫した点

発表する際には、電子黒板やプレゼンテーションソフトを活用し、写真やイラストを使い見ている人が分かりやすい発表を心がけた。

7 取組の様子



「発表の様子」



「マングローブの森散策の様子」

8 参加生徒・教職員の感想・意見

【生徒】

- ・ 自分が住んでいる地域の事を意外に知らなかったので勉強になった。
- ・ 発表に写真や説明を加えることで分かりやすい説明がみんなできるようになってきた。

【教員】

自分が住んでいる地域の史跡や自然に、生徒たちは、今まであまり関心をもっていなかったようだが、今回の学習をすることにより関心が高まったように感じた。

【地域の方から】

昔から伝わる地域の史跡や自然に触れる機会があることは、子供たちにとって有意義なことである。世界自然遺産に奄美が登録された際、観光客の質問に答えられるようになってほしい。